

注3

大学番号：私232

[平成25年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

大阪観光大学 国際交流学部 国際交流学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人明浄学院  
平成27年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 法人本部 総務部

職名・氏名 マトバ シンヤ  
的場 信弥

電話番号 072-451-3333

(夜間)

F A X 072-451-0009

e-mail hojin@tourism.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際交流学部

<国際交流学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	P1
2. 授業科目の概要 . . . . .	P5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	P12
4. 既設大学等の状況 . . . . .	P13
5. 教員組織の状況 . . . . .	P14
6. 留意事項等に対する履行状況等 . . . . .	P23
7. その他全般的事項 . . . . .	P25

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人明浄学院

## (2) 大学名

大阪観光大学

## (3) 大学の位置

〒590-0493

大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミカミ タカヒコ) 三上 貴彦 (平成18年4月)	<del>(ナニバ シンタロウ)</del> (ヨシモト トミオ) 難波伸太郎 吉本 富男 <del>(平成25年7月)</del> (平成27年2月)	学長職に専念するため <del>(26)</del> 辞任による交代 (27)
学長	(ツキモト クニオ) 槻本 邦夫 (平成21年4月)	(ミカミ タカヒコ) 三上 貴彦 (平成25年4月)	任期満了に伴い変更(25)
学部長	(アカギ オサム) 赤木 攻 (平成25年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際交流学部 国際交流学科  学士(文学)	4年	60人	5人 3年次	250人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 ( ) [ ]	—	60 ( ) [ ]	—	60 ( 5 ) [ ]	—	—	—	0.15倍	— 倍	
志願者数	8 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	11 ( 1 ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	19 ( ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
受験者数	7 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	9 ( 1 ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	19 ( ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
合格者数	7 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	9 ( 1 ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	19 ( ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
B 入学者数	6 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	7 ( 1 ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	14 ( ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	0.1		0.13		0.23						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] ( - ) 6	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( - ) 7	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] ( - ) 14	[ - ] ( - ) -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ 1 ] ( - ) 7	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 6	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次			/		/		[ 1 ] ( - ) 6	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -
4年次	/						/		/
計			[ 1 ] ( - ) 6	[ 2 ] ( - ) 14	[ 3 ] ( - ) 26	[ - ] ( - ) -			

- (注)
- ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	6人	1人	平成25年度	1人	0人	他の教育機関への入学	16.7%
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	0人	0人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	8人	1人	平成26年度	1人	1人	就学意欲の低下	12.5%
			平成27年度	0人	0人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	14人	0人	平成27年度	0人	0人		0%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		#DIV/0!%
合計	28人	2人					7.1%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<国際交流学部 国際交流学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基 幹 教 育 科 目	日本学基礎教養ⅠA(人文地理)	1前		2		1						
	日本学基礎教養Ⅰα(地理基礎)	1前		2							兼1	講師(兼担)変更(26)
	日本学基礎教養ⅠB(歴史)	1後		2				1				
	日本学基礎教養Ⅰβ(歴史基礎)	1後		2				1				
	日本学基礎教養ⅠC(習俗文化)	1前		2							兼1	履修者がいなかったため(26) 通常開講(27)
	日本学基礎教養ⅠD(政治)	1後		2		1						AC教員審査を経て担当者変更(26)
	日本学基礎教養ⅠE(社会)	1・2後		2							兼1	1・2年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(25) 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27)
	日本学基礎教養ⅠF(自然)	1・2前		2							兼1	履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(26) 通常開講(27)
	日本学基礎教養ⅡA(近代史)	2前	2					1				
	日本学基礎教養ⅡB(文学)	2後		2							兼1	履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27)
	日本学基礎教養ⅡC(芸術)	2前		2							兼1	履修者がいなかったため(26) 通常開講(27)
	日本学基礎教養ⅡD(経済)	2後		2		1						
	日本人の心性Ⅰ	2前		2							兼1	履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27)
	日本人の心性Ⅱ	2後		2							兼1	履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27)
	日本人の心性Ⅲ	2後		2							兼1	
	日本文明論	1前		2		1						履修希望者がいなかったため(25) AC教員審査を経て担当者変更(26)
	日本神話論	1後		2							兼1	
	憲法	1後		2							兼1	
	基礎演習ⅠA	1前	1			↓	1	1				入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)
	基礎演習ⅠB	1後	1			↓	1	1				入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
基礎演習ⅡA	2前	1			↓	1	1				入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)	
基礎演習ⅡB	2後	1			↓	1	1				入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹教育科目	日本語強化プログラム	日本語演習ⅠA (読解と要約)	1前	1				1				兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
		日本語演習Ⅰα (日本語)	1前	1								兼1 担当講師の都合により就任辞退となったが、留学生対象クラスのため、急きよ専任教員が当該科目を代行。本年6月より講師(兼任)変更。履修者の学習状況に応じて補修も予定する。(25) 講師(兼任)変更(26) 講師(兼任)変更(27)
		日本語演習ⅠB (語彙・漢字)	1前	1					1			兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
		日本語演習Ⅰβ (日本語)	1前	1								兼1 担当講師の都合により就任辞退となったが、留学生対象クラスのため、急きよ専任教員が当該科目を代行。本年6月より講師(兼任)変更。履修者の学習状況に応じて補修も予定する。(25) 講師(兼任)変更(26) 講師(兼任)変更(27)
		日本語演習ⅠC (プレゼンテーション)	1後	1					1			兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)
		日本語演習ⅠD (表現・敬語)	1後	1					1			兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
		日本語演習ⅡA (ディスカッション)	2前	1					1			兼1
		日本語演習ⅡB (文章表現法)	2前	1					1			兼1
		日本語演習ⅡC (ディベート)	2後	1					1			兼1
		日本語演習ⅡD (文章表現法)	2後	1					1			兼1
	日本語研究A (格言・ことわざ・故事成語)	3前		2					1			
	日本語研究B (文藝)	3後		2					1			
	英語プログラムⅠ	留学ポキャブラリー	1前	1								兼1 兼3 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 講師(兼任)変更(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)
		留学コミュニケーション	1前	1								兼1 兼3 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
		リスニング・スキルⅠA	1前	1				1				兼2
		リスニング・スキルⅠB	1後	1				1				兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)
		リーディング・スキルⅠA	1前	1								兼1 兼3 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
リーディング・スキルⅠB		1後	1				1				兼2	
リーディング・スキルⅡA		2前	1								兼1 兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 講師(兼任)変更(26)	
リーディング・スキルⅡB		2後	1								兼1 兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
ポキャブラリーⅠ		1後	1								兼1 兼3 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 講師(兼任)変更(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
ポキャブラリーⅡA		2前	1								兼1 兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 講師(兼任)変更(26)	
ポキャブラリーⅡB	2後	1								兼1 兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)		
グラマー・コアⅠA	1前	1					1			兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)		
グラマー・コアⅠB	1後	1					1			兼2 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基幹教育科目	英語プログラムⅠ	グラマー・コアⅡA	2前	1			1					兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)	
	グラマー・コアⅡB	2後	1			1						兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
	シンボル・ビルディング	1前	1					1				兼2	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
	グローバル・リスニングⅠ	1後	1									兼1 兼3	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
	グローバル・リスニングⅡA	2前	1				1					兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)	
	グローバル・リスニングⅡB	2前	1					1				兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
	グローバル・リスニングⅡC	2後	1				1					兼1		
	グローバル・リスニングⅡD	2後	1									兼1 兼2	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 講師(兼任)変更(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
	スピーキング・スキルⅠ	1後	1									兼1 兼3	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 講師(兼任)変更(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
	スピーキング・スキルⅡA	2前	1				1					兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26)	
	スピーキング・スキルⅡB	2後	1				1					兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
	英語総合演習ⅠA	1前	1					1						
	英語総合演習ⅠB	1後	1					1						
	英語総合演習ⅡA	2前	1									兼1		
	英語総合演習ⅡB	2後	1									兼1		
	学外プログラム	海外語学研修Ⅰ	1前	2				1						
	海外語学研修Ⅱ	2前		4				1						
	専門教育科目	日本学プログラム 探求	日本文地理研究	3前		2		+						履修者がいなかったため(27)
		日本史研究	3前		2					1				
		日本近代史研究	3後		2					1				
日本文明研究		3前		2		1							AC教員審査を経て担当者変更(26)	
日本経済研究		3・4前		2		1								
日本美術史研究		3・4前		2								兼1	履修者がいなかったため(27)	
日本藝能史研究		3・4後		2								兼1	履修者がいなかったため(27)	
日本習俗文化研究		3・4後		2								兼1	履修者がいなかったため(27)	
日本古典文学研究		3・4前		2								兼1	履修希望者がいなかったため(27)	
日本近代文学研究		3・4後		2								兼1	履修希望者がいなかったため(27)	
日本現代文化研究		3・4後		2								兼1	履修希望者がいなかったため(27)	
日本マンガ・アニメ研究		3・4後		2								兼1		
日本宗教史研究Ⅰ		3・4前		2								兼1	履修希望者がいなかったため(27)	
日本宗教史研究Ⅱ		3・4後		2								兼1	履修希望者がいなかったため(27)	
関西文化研究		3・4前		2								兼1	履修者がいなかったため(27)	
比較文化論		4前		2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	日本学探求プログラム	専門演習A	3前	1			3	1	1			兼1 兼2	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)	
		専門演習B	3後	1			3	1	1			兼1 兼2		
		卒論研究A	4前	1			3	1	1			兼2		
		卒論研究B	4後	1			3	1	1			兼2		
		卒業論文	4通	4			3	1	1			兼2		
	英語プログラムⅡ	ボキャブラリーⅢA	3前	1									兼1 兼2	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27) 講師(兼任)変更(27)
		ボキャブラリーⅢB	3後	1									兼1 兼2	
		リーディング・スキルⅢA	3前	1						1			兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27) 講師(兼任)変更(27)
		リーディング・スキルⅢB	3前	1			1				1			入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
		リーディング・スキルⅢC	3後	1							1		兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27) 講師(兼任)変更(27)
		ライティング・スキル	3後	1			1				1			入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
		スピーキング・スキルⅢA	3前	1							1		兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27) 講師(兼任)変更(27)
		スピーキング・スキルⅢB	3後	1							1		兼1	
		グローバル・リスニングⅢA	3前	1							1		兼1	
		グローバル・リスニングⅢB	3前	1							1		兼1	
		グローバル・リスニングⅢC	3後	1							1		兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27) 講師(兼任)変更(27)
		グローバル・リスニングⅢD	3後	1							1		兼1	
		英語総合演習ⅢA	3前	1							1		兼1	専任講師の就任辞退により兼任講師へ変更(27)
		英語総合演習ⅢB	3後	1							1		兼1	
		総合コミュニケーションA	4前	1							1		兼2	
		総合コミュニケーションB	4後	1							1		兼2	
		プレゼンテーション演習A	4前	1			1						兼2	
	プレゼンテーション演習B	4前	1				1					兼2		
	プレゼンテーション演習C	4後	1			1						兼2		
	プレゼンテーション演習D	4後	1				1					兼2		
	英米文学Ⅰ	3・4前		2								兼1	3・4年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(27)	
	英米文学Ⅱ	3・4後		2								兼1	3・4年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(27)	
人材交流マネジメントプログラム	異文化理解基礎	1前	2									兼1		
	心理学基礎	1後	2					1				兼1		
	哲学	2後		2								兼1		
	文化人類学	2前		2		1						兼1		
	人間関係論	2前		2			1					兼1		
	集団心理学	3前		2								兼1	履修希望者がいなかったため(27)	
	対人コミュニケーション論	3後		2				1				兼1		
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	3前		2		1						兼1		
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	3後		2			1					兼1		
	ホスピタリティ論	3前		2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	国際日本プログラム	国際関係論	1前		2							兼1	
		国際経済学	2前		2		1						履修者がいなかったため(26) 通常開講(27)
		アジア海域交流史	2後		2							兼1	履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27)
		多文化共生論	3前		2			1					履修者がいなかったため(27)
		日本近代外交史	3後		2				1				
		日本・欧米関係論	3・4前		2							兼1	
		日本・アジア関係論	3・4後		2		1						履修者がいなかったため(27)
		アジア経済事情	3・4後		2		1						
		マイノリティ研究	3・4後		2			1					履修者がいなかったため(27)
		国際交流演習(英語プレゼンテーション演習)	4前		1							兼1	
関連教育科目	創造力開発プログラム	創造力開発Ⅰ	3・4前		2							兼1	3・4年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(27)
		創造力開発Ⅱ	3・4前		2						兼1		
		創造力開発Ⅲ	3・4後		2						兼1	履修者がいなかったため(27)	
	生き方学習プログラム	人物研究Ⅰ	1・2後		2							兼1	
		人物研究Ⅱ	2・3前		2		1						
		人物研究Ⅲ	3・4前		2						兼1		
	近隣アジア地域研究プログラム	中国研究	2・3前		2							兼1	
		台湾研究	2・3後		2							兼1	2・3年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(26) 履修希望者がいなかったため(27)
		韓国研究	2・3後		2						兼1		
		タイ研究Ⅰ	2・3前		2		1						
		タイ研究Ⅱ	2・3後		2						兼1	2・3年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(26) 履修希望者がいなかったため(27)	
		ベトナム研究	2・3前		2						兼1		
		中国語A	3・4前		1						兼1	履修者がいなかったため(27)	
		中国語B	3・4後		1						兼1		
		ハングルA	3・4前		1						兼1	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更。履修者がいなかった(27)	
		ハングルB	3・4後		1						兼1		
	アジア文化研究	3・4前		2		1							
	情報技術プログラム	情報処理基礎演習A	1前	1								兼1 兼2	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(27)
		情報処理基礎演習B	1前	1								兼1 兼2	
		情報処理演習A	1後	1								兼1 兼2	
情報処理演習B		1後	1								兼1 兼2		
キャリアアッププログラム	キャリア・デザイン	1・2前	2				1						
	キャリア・プランニング	2後	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連教育科目	健康スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前		2								兼1 担当講師の就任辞退により、講師（兼任）変更。履修希望者がいなかった（25） 通常開講（26） 履修希望者がいなかったため（27）
	健康スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼1 担当講師の就任辞退により、講師（兼任）変更。履修希望者がいなかった（25） 履修希望者がいなかったため（26） 通常開講（27）	

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
73	79	0	152	73	79	0	152	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
  - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本学基礎教養IE(社会)	2	1・2後期	一般	選択	担当講師の都合のため1・2年次配当であることから今年度は未開講とした。来年度開講予定により代替措置はなし(25)
2	台湾研究	2	2・3後期	一般	選択	担当講師の都合のため2・3年次配当であることから今年度は未開講とした。来年度開講予定により代替措置はなし(26)
3	タイ研究Ⅱ	2	2・3後期	一般	選択	担当講師の都合のため2・3年次配当であることから今年度は未開講とした。来年度開講予定により代替措置はなし(26)
4	英米文学Ⅰ	2	3・4	専門	選択	担当講師の都合のため3・4年次配当であることから今年度は未開講とした。来年度開講予定により代替措置はなし(27)
5	英米文学Ⅱ	2	3・4	専門	選択	担当講師の都合のため3・4年次配当であることから今年度は未開講とした。来年度開講予定により代替措置はなし(27)
6	創造力開発Ⅰ	2	3・4	一般	選択	担当講師の都合のため3・4年次配当であることから今年度は未開講とした。来年度開講予定により代替措置はなし(27)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	(該当科目なし)					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度未開講科目については、選択科目であるため、他の科目履修により学生への支障はないものとする。学生には、オリエンテーション等を通じて当該科目が3・4年次配当であり、来年度開講する旨を告知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.02$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と運動場用地の別地グラウンド(徒歩36分)			
	校舎敷地	20,037.00㎡	0㎡	0㎡	20,037.00㎡				
	運動場用地	17,717.00㎡	0㎡	0㎡	17,717.00㎡				
	小 計	37,754.00㎡	0㎡	0㎡	37,754.00㎡				
	そ の 他	7,665.17㎡	0㎡	0㎡	7,665.17㎡				
	合 計	45,419.17㎡	0㎡	0㎡	45,419.17㎡				
(2) 校舎	専 用	16493.42㎡	0㎡	0㎡	16493.42㎡				
	( 16493.42㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 16493.42㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	5室	2室	0室	1室 (補助職員 1人)	5室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	国際交流学部 国際交流学科			11 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 83,418冊[12,467冊] 82,715冊[15,438冊] 26年度末に2,773点の 図書・非図書資料を除 籍したため全体数が減 少している(27)  学術雑誌 8,930冊[18冊] 9,912冊[1316冊]	
	国際交流学部	1,595 [ 62 ] ( 1,595 [ 62 ] )	18 [ 6 ] ( 18 [ 6 ] )	0 [ 0 ] ( 0 [ 0 ] )	0 ( 0 )	585 ( 585 )	0 0		
	計	1,595 [ 62 ] ( 1,595 [ 62 ] )	18 [ 6 ] ( 18 [ 6 ] )	0 [ 0 ] ( 0 [ 0 ] )	0 ( 0 )	585 ( 585 )	0 0		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		閲覧座席数の充実を図ったため(26)		
	1,884.26㎡		166席 173席		110,000冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,229.10㎡		野球場 1面		テニスコート 2面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	4,001千円	0千円	0千円	
		共 同 研 究 費 等	500千円	500千円	設備購入費	44,466千円	0千円	0千円	
	学生 1人当り納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,330千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪観光大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
観光学部 観光学科	4年	130人	3年次 15人	615人	学士 (観光学)	0.84	平成12年度	大阪府泉南郡熊取町 大久保南5-3-1	
国際交流学部 国際交流学科	4年	60人	5人	185人	学士 (文学)	0.14	平成25年度	同上	
大学の名称	—								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<国際交流学部 国際交流学科>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	赤木 攻 (68)	平成25年4月	タイ研究Ⅰ 日本・アジア関係論 基礎演習ⅠA 基礎演習ⅠB 基礎演習ⅡA 基礎演習ⅡB						未開講 履修者がいなかったため(27) 未開講 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
専	教授	中西輝政 (65)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠD(政治) 日本文明論 日本文明研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文	専任	教授	森田 吉彦 (39)	平成26年4月	日本学基礎教養ⅠD(政治) 未開講 日本文明論 日本文明研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文	AC教員審査を経て担当者変更(26) 履修希望者がいなかったため(25) AC教員審査を経て担当者変更(26) AC教員審査を経て担当者変更(26) AC教員審査を経て担当者変更(26) 履修希望者がいなかったため未開講(27) AC教員審査を経て担当者変更(26)
専	教授	小林 茂 (65)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠA(人文地理) 日本文学地理研究 文化人類学 異文化コミュニケーション論Ⅱ アジア文化研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						未開講 履修者がいなかったため(27) 未開講 履修者がいなかったため(27) 未開講 履修希望者がいなかったため(27)
専	教授	杉本孝司 (65)	平成26年4月	グラマー・コアⅡA グラマー・コアⅡB グローバル・リスニングⅡA グローバル・リスニングⅡC スピーキング・スキルⅡA スピーキング・スキルⅡB リーディング・スキルⅢB ライティング・スキル プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習C 異文化コミュニケーション論Ⅰ						
専	教授	小原一博 (46)	平成26年4月	日本学基礎教養ⅡD(経済) 日本経済研究 国際経済学 アジア経済事情 人物研究Ⅱ 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						未開講 履修者がいなかったため(26) 通常開講(27) 未開講 履修希望者がいなかったため(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	池田和弘(54)	平成25年4月	リスニング・スキルⅠA リスニング・スキルⅠB リーディング・スキルⅠB グラマー・コアⅠA グラマー・コアⅠB シンボル・ビルディング グローバル・リスニングⅡB 英語総合演習ⅠA 英語総合演習ⅠB プレゼンテーション演習B プレゼンテーション演習D 海外語学研修Ⅰ 海外語学研修Ⅱ						
専	准教授	小森三恵(37)	平成25年4月	心理学基礎 人間関係論 対人コミュニケーション論 キャリア・デザイン 基礎演習ⅠA 基礎演習ⅠB 基礎演習ⅡA 基礎演習ⅡB						
専	准教授	谷口裕久(53)	平成27年4月	比較文化論 多文化共生論 マイノリティ研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文					未開講 未開講 未開講	履修者がいなかったため(27) 履修者がいなかったため(27) 履修希望者がいなかったため(27)
専	講師	Andrew Clifford Elliott(37)	平成27年4月	リーディング・スキルⅢA リーディング・スキルⅢB リーディング・スキルⅢC ライティング・スキル スピーキング・スキルⅢA スピーキング・スキルⅢB グローバル・リスニングⅢA グローバル・リスニングⅢB グローバル・リスニングⅢC グローバル・リスニングⅢD 英語総合演習ⅢA 英語総合演習ⅢB 総合コミュニケーションA 総合コミュニケーションB					未開講	担当講師の就任辞退及び入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
					兼任	講師	Makoa Carman(36)	平成27年4月	英語総合演習ⅢA 英語総合演習ⅢB	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更(27)
専	講師	宮澤太聡(32)	平成25年4月	日本語演習ⅠA(読解と要約) 日本語演習ⅠB(語彙・漢字) 日本語演習ⅠC(プレゼンテーション) 日本語演習ⅠD(表現・敬語) 日本語演習ⅡA(ディスカッション) 日本語演習ⅡB(文章表現法) 日本語演習ⅡC(ディベート) 日本語演習ⅡD(文章表現法) 日本語研究A(格言・ことわざ・故事成語) 日本語研究B(文藝)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	後藤敦史(30)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠB(歴史) 日本学基礎教養Ⅰβ(歴史基礎) 日本学基礎教養ⅡA(近代史) 日本史研究 日本近代史研究 日本近代外交史 基礎演習ⅠA 基礎演習ⅠB 基礎演習ⅡA 基礎演習ⅡB 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						未開講 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 通常開講(26)
兼任	教授	橘弘文(55)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠC(習俗文化) 日本神話論 日本習俗文化研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						未開講 履修者がいなかったため(26) 通常開講(27) 未開講 履修者がいなかったため(27) 未開講 履修希望者がいなかったため(27)
兼任	教授	住木俊之(48)	平成27年4月	ホスピタリティー論						未開講 履修者がいなかったため(27)
兼任	教授	加藤素明(48)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅡC(芸術) 日本美術史研究 日本藝能史研究 日本マンガ・アニメ研究 異文化理解基礎 哲学 創造力開発Ⅱ 人物研究Ⅲ 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						未開講 履修者がいなかったため(26) 通常開講(27) 未開講 履修者がいなかったため(27) 未開講 履修者がいなかったため(27)
兼任	講師	山神達也(39)	平成25年4月	日本学基礎教養Ⅰα(地理基礎)	兼任	教授	加藤素明	平成26年4月	日本学基礎教養Ⅰα(地理基礎)	担当講師の辞退により講師変更(26)
兼任	講師	乾由紀子(45)	平成25年10月	日本学基礎教養ⅠE(社会) 日本現代文化研究						未開講 1・2年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度に開講(25) 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27) 未開講 履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	三上禎次(38)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠF(自然)						未開講 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(26) 通常開講(27)
兼任	講師	太田路枝(45)	平成26年10月	日本学基礎教養ⅡB(文学) 日本近代文学研究						未開講 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27) 未開講 履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	藤谷厚生(51)	平成26年4月	日本人の心性Ⅰ 日本人の心性Ⅱ 日本宗教史研究Ⅰ 日本宗教史研究Ⅱ						未開講 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27) 未開講 履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27) 未開講 履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	草野友子(33)	平成26年10月	日本人の心性Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	西島和彦(44)	平成25年10月	憲法							
兼任	講師	高井美穂(31)	平成25年4月	日本語演習ⅠA(読解と要約) 日本語演習ⅠB(語彙・漢字) 日本語演習ⅠC(プレゼンテーション) 日本語演習ⅠD(表現・敬語) 日本語演習ⅡA(ディスカッション) 日本語演習ⅡB(文章表現法) 日本語演習ⅡC(ディベート) 日本語演習ⅡD(文章表現法)						未開講 未開講 未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
兼任	講師	吉兼奈津子(39)	平成25年4月	日本語演習ⅠA(読解と要約) 日本語演習Ⅰα(日本語) 日本語演習Ⅰβ(日本語) 日本語演習ⅠB(語彙・漢字) 日本語演習Ⅰβ(日本語) 日本語演習ⅠC(プレゼンテーション) 日本語演習ⅠD(表現・敬語)	兼任 講師 橋本佳美(51) 兼任 講師 稲垣蘭(66) 兼任 准教授 坪根由香里(53)	兼任 講師 橋本佳美(51) 兼任 講師 稲垣蘭(66) 兼任 准教授 坪根由香里(53)	平成25年6月 平成26年9月 平成27年4月	日本語演習Ⅰα(日本語) 日本語演習Ⅰβ(日本語) 日本語演習Ⅰβ(日本語)	未開講 未開講 未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27) 担当講師の都合により就任辞退となったが、留学生対象クラスのため、急きよ専任教員が当該科目を代行。本年6月より講師(兼任)変更。履修者の学習状況に応じて補習も予定(25) 担当者変更(26) 担当者変更(27) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27) 担当講師の都合により就任辞退となったが、留学生対象クラスのため、急きよ専任教員が当該科目を代行。本年6月より講師(兼任)変更。履修者の学習状況に応じて補習も予定(25) 担当者変更(26) 担当者変更(27) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)	
兼任	講師	勢田道生(34)	平成27年4月	日本古典文学研究						未開講	履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	河瀬義博(79)	平成26年10月	関西文化研究 キャリア・プランニング						未開講	履修者がいなかったため(27)
兼任	講師	佐々木郁子(35)	平成27年4月	英米文学Ⅰ 英米文学Ⅱ						未開講	3・4年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(27)
兼任	講師	西浦真喜子(33)	平成27年4月	集団心理学						未開講	履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	東村紀子(35)	平成25年4月	国際関係論 日本・欧米関係論							
兼任	講師	山内晋次(52)	平成26年10月	アジア海域交流史						未開講	履修希望者がいなかったため(26) 履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	今矢文枝(57)	平成28年4月	国際交流演習(英語プレゼンテーション)							

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	伊藤 武(71)	平成27年4月	創造力開発 I						未開講	3・4年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(27)
兼任	講師	竹林浩志(43)	平成25年10月	創造力開発Ⅲ 人物研究 I	-----	-----	-----	-----	-----	未開講	履修者がいなかったため(27)
兼任	講師	許衛東(50)	平成26年4月	中国研究							
兼任	講師	杉本麗華(50)	平成26年10月	台湾研究						未開講	2・3年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(26) 履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	岸田文隆(54)	平成26年10月	韓国研究							
兼任	講師	村上忠良(48)	平成26年10月	タイ研究 II						未開講	2・3年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度開講(26) 履修希望者がいなかったため(27)
兼任	講師	富田健次(66)	平成26年4月	ベトナム研究							
兼任	講師	劉 洋洋(41)	平成27年4月	中国語 A 中国語 B						未開講	履修者がいなかったため(27)
兼任	講師	金 永信(39)	平成27年4月	ハングル A ハングル B	兼任	講師	姜清美(51)	平成27年4月	ハングル A ハングル B		担当講師の就任辞退により講師(兼任)変更。履修者がいなかった(27)
兼任	講師	中村恭之(45)	平成25年4月	情報処理基礎演習 A 情報処理基礎演習 B 情報処理演習 A 情報処理演習 B							
兼任	講師	岩田英朗(44)	平成25年4月	情報処理基礎演習 A 情報処理基礎演習 B 情報処理演習 A 情報処理演習 B						未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
兼任	講師	山崎大樹(25)	平成25年4月	健康スポーツ演習 I	兼任	講師	岡西康法(29)	平成25年4月		未開講	担当講師の就任辞退により講師(兼任)変更。履修希望者がいなかった(25) 通常開講(26) 履修希望者がいなかったため(27)
				健康スポーツ演習 II	兼任	講師	岡西康法(29)	平成25年4月		未開講	担当講師の就任辞退により講師(兼任)変更。履修希望者がいなかった(25) 履修希望者がいなかったため(26) 通常開講(27)
兼任	講師	膳 操(43)	平成25年4月	リスニング・スキル I A リスニング・スキル I B リーディング・スキル I A リーディング・スキル I B グラマー・コア I A グラマー・コア I B シンボル・ビルディング グローバル・リスニング I 英語総合演習 II A 英語総合演習 II B						未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
兼任	講師	安藤裕子(56)	平成25年4月	リスニング・スキル I A リスニング・スキル I B リーディング・スキル I A グラマー・コア I A グラマー・コア I B グローバル・リスニング I プレゼンテーション演習 A プレゼンテーション演習 B プレゼンテーション演習 C プレゼンテーション演習 D						未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	井口信江 (41)	平成25年4月	リーディング・スキルⅠA						未開講 入学者の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
				リーディング・スキルⅠB						
				グラマー・コアⅡA						
				グラマー・コアⅡB						
				シンボル・ビルディング						
				グローバル・リスニングⅠ						
				グローバル・リスニングⅡA						
				グローバル・リスニングⅡC						
プレゼンテーション演習A										
プレゼンテーション演習C										
兼任	講師	出木谷喜美世 (64)	平成27年4月	リーディング・スキルⅢA リーディング・スキルⅢC グローバル・リスニングⅢA グローバル・リスニングⅢC	兼任	講師	Paul Holborow (36)	平成27年4月	リーディング・スキルⅢA リーディング・スキルⅢC グローバル・リスニングⅢA グローバル・リスニングⅢC	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更(27)
兼任	講師	James Pope (50)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリーⅠ スピーキング・スキルⅠ 総合コミュニケーションA 総合コミュニケーションB	兼任	講師	Shawn Young (41)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリーⅠ スピーキング・スキルⅠ 総合コミュニケーションA 総合コミュニケーションB	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更(25)
兼任	講師	Gatherine Jakszta (30)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリーⅠ スピーキング・スキルⅠ 総合コミュニケーションA 総合コミュニケーションB						未開講 入学者の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 入学者の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
兼任	講師	Bradley Colpitts (29)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリーⅠ スピーキング・スキルⅠ ポキャブラリーⅢA ポキャブラリーⅢB スピーキング・スキルⅢA スピーキング・スキルⅢB	兼任	講師	Shawn Young (43)	平成27年4月	ポキャブラリーⅢA ポキャブラリーⅢB スピーキング・スキルⅢA スピーキング・スキルⅢB	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更(27)
兼任	講師	John Hallam (33)	平成26年4月	リーディング・スキルⅡA リーディング・スキルⅡB ポキャブラリーⅡA ポキャブラリーⅡB	兼任	講師	Makoa Carman (35)	平成26年4月	リーディング・スキルⅡA リーディング・スキルⅡB ポキャブラリーⅡA ポキャブラリーⅡB	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更(26)
				グローバル・リスニングⅡD プレゼンテーション演習B プレゼンテーション演習D					兼任	

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	Haydn Cavalier (41)	平成26年4月	リーディング・スキルⅡA						未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(26) 入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
				リーディング・スキルⅡB							
				ボキャブラリーⅡA							
				ボキャブラリーⅡB							
				グローバル・リスニングⅡB							
				グローバル・リスニングⅡD							
				スピーキング・スキルⅡA							
				スピーキング・スキルⅡB							
				ボキャブラリーⅢA						未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(27)
				ボキャブラリーⅢB							
				グローバル・リスニングⅢB							
				グローバル・リスニングⅢD	兼任	講師	Makoa Carman (36)	平成27年4月	グローバル・リスニングⅢB グローバル・リスニングⅢD		担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更(27)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5	3	3	0	11	5	3	2	0	10	65	3	65	4
(3)	(2)	(2)	(0)	(7)	[0]	[0]	[-1]	[0]	[-1]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	Andrew Clifford Elliott	一身上の都合により就任辞退(27)
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更した。当初計画していた、専任、兼任講師でクラス編成を変更したため学生への影響はない。就任辞退については学内掲示により学生に周知を行っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
設置時 (平成24年12月)	<p>1. 教育課程が英語のスキル向上と「日本学」に偏重していることから、本学部の養成する人材像に掲げる「日本人としての基礎的教養」、「人類社会が抱える今日的課題を自覚できる人間」等を涵養する教育課程となるよう適切に見直すこと。</p>	改善意見 <p>「1」の指摘を踏まえ、完成年度を目標に養成する人材像の涵養に向け教育課程の見直しを行う。開学初年度は、その準備・調査段階として、現教育課程の問題点や現状把握を行うため、DP（ディプロマポリシー）に沿った履修選択がなされているかを確認する。具体的には後述するナンバリングやキャップ制を活用しながら、学生に適切な科目を履修させた後、GPA等により到達度の確認を行っていく。その後、第二段階として教授会にて内容を検討して行く。(25)</p>	
	<p>2. 「日本学」に関して、日本の風土、言語、思想等に関する授業科目を並べるのではなく、各授業科目が有機的に繋がり、一つの学習プログラムを形成できるよう授業内容、選択・必修の別等をさらに検討し、科目開設時まで適切に見直すこと。</p>	改善意見 <p>「2」の指摘を踏まえ、DPと連動した科目レベルや学問分類を示すナンバリング・システムを導入し体系性を明示。学生が授業科目の学修段階や順序等を系統立てて履修できるよう、GPAやキャップ制と共に整備を行った。また、専任・非常勤教員の研修会を学期開設前に実施し、授業内容等の調整も行った。(添付資料①参照)(25)</p>	
	<p>3. 主に日本人学生を対象とした教育課程であり、広報において「世界をつなぐ日本人になろう」、「和魂地球人」ということを掲げているが、一方で外国人学生を一定数受け入れる計画であることから、外国人学生向けの教育課程について、さらに検討し、適切に整備すること。</p>	改善意見 <p>「3」の指摘を踏まえ、現在開講している留学生対象科目(4科目)の状況を見ながら適切かどうかを判断し、教授会、各委員会にて次年度の受け入れ体制を決定していく。(25)</p>	
	<p>4. 外国人学生の受け入れについて、計画にある「留学生枠」の設定を明確にし、受験生に周知するとともに、外国人学生の入学選抜において、日本人学生と同様に英語の基礎学力を要件とすることが不明瞭であるため、本学の英語教育への取り組みに鑑みて、外国人学生に対しても入学段階で英語に関する要件を課すこと。</p>	改善意見 <p>「4」の指摘を踏まえ、平成25年度(開設初年度)入試については、留学生区分の入試を設定し、学生募集要項やホームページ、日本語学校訪問等により周知した。また、入試選抜においては、口頭試問を行い、受験生一人ひとりの英語の基礎学力を英語プログラム専任教員により確認し選考を行った。(添付資料②参照)(25)</p>	
	<p>5. 「国際日本プログラム」10科目の授業科目名称を見直し、必要であれば改めること。特に「マイノリティ研究」(3、4年後期)について、基礎的な内容である「異文化基礎理解」(1年前期)、「文化人類学」(2年前期)、「多文化共生論」(3年前期)と教育内容が積み上げられていくと考えられるため、「多文化共生論」を発展させる授業科目名称、授業内容とすることを検討し、必要であれば適切に見直すこと。</p>	改善意見 <p>「5」に指摘にされた「国際日本プログラム」マイノリティ研究については、学際的展開から、各プログラムをまたいだ授業科目を履修することにより、教育内容が積み上げられるよう予め設定されているが、同科目については人材交流マネジメントプログラムの「異文化理解基礎」「文化人類学」ではなく、日本学基礎教養IE(社会)の発展科目として位置づけられている。一方、多文化共生論の発展科目としては、異文化コミュニケーション論I・II及び比較文化論の3科目を設定している(添付資料①参照)。ただし、学際的科目の性格をより明確にするため、「5」の指摘を踏まえ、今後は教授会にて検討し、系統的学修について適切に判断していくこととする。(25)</p>	
	<p>6. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	改善意見 <p>「6」の指摘については、補正申請時に提出した「専任教員年齢編成の計画」に沿って将来構想を明示していたが、指摘事項を踏まえ、上記計画をベースに学年進行の状況を勘案しながら、今後、将来構想を再度検討し、着実に実行していく。(25)</p>	

<p>設置計画履行状況調査時 (平成26年2月)</p>	<p>国際交流学部国際交流学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>理事長・学長参加の学生募集戦略会議の下、オープンキャンパス参加者の歩留まり向上や、既存の観光学部との相乗効果を高める各施策を実施している。(26)</p>	<p>本学部は、これまでにない新しい国際交流を標榜する学部であり、受験生に浸透するまである程度の時間がかかるものと認識している。入学定員の見直しについては、平成28年度の完成年度後の状況をみて、平成29年度以降適切に対応したい。(26)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成27年2月)</p>	<p>定員充足率が非常に低い水準であることから、定員設定の妥当性の検証を行いながら、同時に積極的かつ正確な広報活動を行うなど学生確保に努め、定員未充足の状態を改善すること。(国際交流学部)</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成25年9月のAO教員審査により、中堅の教授を1名採用し、補正申請時に提出した「専任教員年齢構成の計画」の前倒しを行った。(26)</p>	<p>「専任教員年齢構成の計画」をベースに学年進行の状況を勘案しながら、今後、左記改善状況のように、将来構想(再補正申請で目標としている平成32年度での完成)を前倒して実施するなど、着実に実行していく。(26)</p> <p>本学部は、これまでにない新しい国際交流を標榜する学部であり、ここ数年の募集活動をとおり、受験生に浸透するまである程度の時間がかかるものと認識している。 今年度は、理事長・学長参加の学生募集戦略会議の下、オープンキャンパス参加者の歩留まり向上や、既存の観光学部との相乗効果を高める各施策を実施した結果、昨秋時点で定員の半分程度の入学者数を見込むに至った。 その後、見込み者の諸事情(学費や進路ニーズ等の理由)により、10名程度が観光学部へ進路変更することとなり、入学者数は14名(昨年2倍)となった。(27)</p> <p>今後の改善策としては、観光学部との学費格差(奨学金制度)の調整や、受験生の進路ニーズが高い「エアライン・空港」に関する課外講座(全学開講)の設置を行い、今年度の課題であった観光学部への進路変更者をなくすと共に、入試を含む募集活動全般の共通化を行い、好調である観光学部との相乗効果をさらに高める計画である。 なお、日本人以外にも非漢字圏の外国人留学生の募集対応も計画しており、それら施策を着実に進めることにより、完成年度には定員の60名を充足する見込である。 既存の学年については編入学の学生を受け入れ、定員確保につなげる。(27)</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<国際交流学部 国際交流学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
(該当なし)	(該当なし)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

大学全体の教育活動の質的向上と発展を目的に、平成18年度から全学組織である「大阪観光大学FD委員会」を設置している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

各学部から選出される教員で構成され、年間12回程度開催している。

##### c 委員会の審議事項等

教育活動の質的向上と発展に関する事項を審議している。

#### ② 実施状況

国際交流学部では、上記「大阪観光大学FD委員会」に加えて、学部独自のFD体制を整え、全教員対象の取り組みを行っている。

##### a 実施内容

(1) 新任教員対象の研修会（開設前）

(2) 教員のリフレクション・ミーティング：「CSJミーティング」（開設後）

##### b 実施方法

(1) 新任教員研修会（年間2回実施）

開設前に国際交流学部専任・兼任教員対象の「学部理念やポリシー」「カリキュラムの特徴」「英語教育」等教育研究に関する説明のほか、教務・学生・就職・図書等関連事項について説明を行い、学部、全学で共有する事項について研修を行った。また、別途非常勤教員を対象に学部説明の研修会を行った。

(2) CSJミーティング（毎週1回実施）

開設初年度からは、月例の定例教授会（毎月第3水曜日）とは別に、毎週1回（水曜日15:30から90分～120分）専任教員全員が集まって教学上の諸問題を討議する会合「CSJミーティング」を開催している。これは教員間の緊密な連携を目指す本学独自の「システム教育」を実現するための一環であり、教員各自が一週間の間に得た教学上の経験、知見、困難を披瀝し合って解決すべき諸問題について討議、助言を不断に行える、国際交流学部固有のFDシステムである。

ここではFDにかかわる事柄を中心に、主として下記の4点について話し合われている。

- 1) 授業のリフレクション
- 2) 学生指導のリフレクション
- 3) 学事に関する討議・伝達
- 4) 学部運営に関する討議・伝達

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 新任教員研修会

発足に伴う研修会（専任・兼任教員対象）を平成25年2月2日（土）に開催し、新任教員、関係する事務職員を含む27名の参加があった。また、国際交流学部研修会（専任・兼任・非常勤教員対象）を平成25年3月27日（水）に開催し、関係する事務職員を含む15名が参加した。

(2) GSJミーティング

出張や学内会議等の公務による理由以外は毎回専任全員が出席している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・学部独自のFDである「GSJミーティング」については、毎回活発な討議が交わされている。短い周期でリフレクションを行う方式を採っているが、これはとりわけ開設して間もない小規模校である本学部の教学にとってたいへん有効に機能しているため、次年度以降も引き続き実施していきたい。また、今後は、各種研修会の開催や授業改善策の検討等、教育活動の質的向上と発展を図るためのさらなる体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、授業評価アンケートを現在下記のように行っている。

(1) 自由記述式（毎学期第8週）

学生が授業の内容・難易度・進め方等について要望を自由に記述する。教員は翌週にその結果について口頭で返答し、すぐに実行可能なことがらについては、即時に授業に取り入れる。これを学期末でなく第8週に行うのは、当該学期のうちにフィードバックを学生に伝えて授業改善を図ることができるからである。また、学生も自分が今受講している授業について自身に利益が返ってくることから、アンケートに回答する上でモチベーションが向上し、あわせて授業に能動的に参与する責任感を持たせることにもつながっている。

(2) 5段階評価式（毎学期第14週）

5段階評価式のアンケートは毎学期末に行っている（都合により第14週に実施できない場合は最終週に実施）。結果は成績評価が済んだ後に教員に返され、教員はその結果や、先の自由記述式アンケートや、試験・レポート等についての評価基準と講評、全体的な授業実施における問題点とその対応・改善を、「授業の振り返り」として執筆する。この「振り返り」は学内イントラネット（Mネット）で全学生、教職員に公開される。この「振り返り」とは、いわゆるティーチング・ポートフォリオのことであり、教員は自らの「振り返り」を基にしてその学期の授業内容と方法を反省し、次年度の授業シラバスを作成する。また、今後はこれらのポートフォリオを学部毎に集積することによって、科目間相互の連関をさらに密にし、より良いカリキュラム編成に資することも期待されている。

国際交流学部においても全学的な取り組みと同様に行っている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記の5段階評価式のアンケート実施後に「授業の振り返り」を学内イントラネット（Mネット）で全学生、教職員に公開している。国際交流学部についても同様の取り組みを行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

##### ◆設置の趣旨（概略）と目標とする人間像

本学部はグローバル化が進行する時代にあつて、日本文化を世界に「発信」し、多文化と「交流」できる人材養成の場として開設した。その教育内容は英語および日本語の高い運用能力と日本文化に関する深い知識を涵養し、高度な「交流力（コミュニケーション力）」を実現することに焦点を当てている。日本人が日本のことを正しく発信し、外国の人たちが日本を正しく理解する、そして地球上の諸問題を共に語り、解決策をお互いの対話をとおして模索する場でありたいと考える。また、目標とする人間像は次のとおりである。

- ・高いコミュニケーション（交流）力と日本についての豊かな教養をもち、「日本」を世界に発信する行動的人間。
- ・どこのだれとでもコミュニケーションできる人間。
- ・他人、他地域、他社会、他国、他民族へ思慮が及ぶ人間。
- ・日本を客観視できる人間。
- ・人類社会が抱える今日的課題を自覚できる人間。

##### ◆達成状況とその評価・所見

設置から2年が経過し開設3年目を迎えところではあるが、教育課程全般については設置の趣旨を踏まえ、計画的に進行している。（個別事項は次のとおり）

- ・本学部の教育方法の根幹である「システム教育」については、専任教員による「GSJミーティング」等を活用し、科目間連携等カリキュラム全体を有機的に関連させ教育効果を最大にすべく適宜進めている。
- ・1年次の履修科目の半分程度を占める「英語プログラム」は、少人数教育による学習環境の維持と従来の手法とは異なる学部独自の新しい学習メソッドにより、「英語が不得手ながらも、習得したい学生」に対してモチベーションを維持しながらきめ細やかな対応をしている。また、目標資格であるTOEICのスコアアップについては、学生の卒業後の就職や留学に向けての努力の証になるよう引き続き対応して行く。
- ・1年次必修のオーストラリア・グリフィス大学での海外語学研修は、事前・事後学修による計画的な取り組みもあり、実践的な英語力の修得と同時に学修継続のモチベーション維持に繋がっている。2年次以降の短期・長期留学に向けての準備は整っている。
- ・学修全体の進捗状況については、基礎演習授業を中心にアカデミック・スタディ・スキルの育成及びレポート・論文指導、アクティブラーニングにより着実な効果を上げている。
- ・個々の授業科目（内容）については、学生の要望に応え、英語プログラムの全科目、異文化理解基礎、心理学基礎等の科目において、教材の改善や授業終了後に個別指導の時間を設けるなど、授業の不明点を解消し予習復習的なサポートを継続的に行い教育効果を高めている。

なお、今後の対応としては先の留意事項を含め、当学部の設置の趣旨・目的の達成にむけて、着実に履行していくよう努力する。特に学生募集活動については、この3年間の反省を踏まえ、体制の強化とともに全学的な対応を決定しており、定員充足にむけて最重点課題として取り組む。

#### ② 自己点検・評価報告書

本学では、教育研究活動の改善・向上を目的に、平成12(2000)年4月の開学とともに「大阪観光大学自己点検・評価委員会規程」が整備され、平成14(2002)年度からほぼ2年ごとに自己点検・評価報告書が作成されている。自己点検・評価委員会は学長以下、学部長・事務局長・各委員会の長及び教授会から選出された教員により構成され、自己点検・評価に関する事項を審議し、点検・評価を実施している。自己点検・評価により確認される問題点や課題は、各委員会にフィードバックされ、それぞれの改善活動につながっている。

平成23年3月には、認証評価機関である日本高等教育評価機構より、同機構の大学評価基準を満たしていると認定され、認証結果は「自己点検・自己評価書」とともにホームページにより学内外に公表されている。また、学生の授業アンケートによる授業評価の結果及び教員の対応策は、学内情報システム「M ネット」により学生や教職員に公開されている。

国際交流学部においても、これらの全学的な動きに対応して、国際交流学部自己点検・評価委員会を設置して、学部教育の目的及び人材養成方針を堅持すべく恒常的・定期的な点検、評価を継続する予定であり、次期認証評価に向けて、本学部の自己点検評価を大学全体の自己点検・評価報告書に盛り込む予定である。

##### a 公表時期

平成27年3月 公表

##### b 公表方法

大学ホームページ上の公開を基本に、全学的な活動と連携しながら、今後具体案を検討する予定である。

#### ③ 認証評価を受ける計画

本学は平成22年度に日本高等教育評価機構より認証評価を受け、同機構の大学評価基準を満たしていると認定された。平成29年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成27年 6月 末日 )